

第15回さいたま市科学者の卵コンテスト「ペットボトルロケット大会」実施報告書

- 1 日時 平成23年8月10日(水) 8:15~11:00
- 2 場所 駒場運動公園 補助競技場(通称 サブグラウンド)
- 3 ねらい 同年代の仲間と協力し合いながらペットボトルロケットを製作する体験をとおして、ものづくりの喜びを味わうとともに達成感・成就感を味わわせる。また、創意工夫の成果を競い合う体験をとおして、科学技術への興味・関心をもたせ、創造性豊かな青少年を育成する。
- 4 主催等
主催 さいたま市教育委員会
共催 日本機械学会関東支部埼玉ブロック
運営 第15回さいたま市科学者の卵コンテスト実行委員会
事務局 さいたま市青少年宇宙科学館
- 5 内容 さいたま市在住・在学の小学生を対象に、2~3名でチームを組み、炭酸飲料用ペットボトルを用いて製作した水ロケットを的に向けて発射し、その精度を競う。
参加者 50チーム(参加児童・保護者を含め384名)が参加
関連行事
申込期間 5月14日~25日
キット配付 6月19日(日)13:00~14:00
製作質問会 7月3日(日) 9:15~10:15 20チームが参加
試射会 8月5日(金) 8:15~12:00 42チームが参加

6 本大会の様子

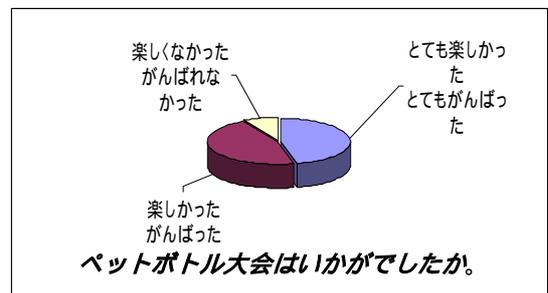


7 実施後のアンケートと感想

- ・ アンケート結果より、参加した児童は満足しているようだった。「楽しなかった」と回答している児童は、「大会当日の暑さ」が原因であったようだ。

・ 入賞者の感想

- * ぼくは、前からペットボトルに興味がありました。今回、友達がさそってくれてとてもうれしかったです。ペットボトルロケットの製作も友達のお父さんと相談して作るのがとてもたのしかったです。
- * 頑張った所は、空気入れの時に気合いを入れて数えながら3人一緒に空気を入れたり、とばす前に肩を組んで、円陣を組んだりして頑張りました。
- * 去年の結果は、ぜんぜんだめでした。でも今年はリベンジをしました。



- * 大変だったのは、ロケットに空気を入れることです。さいしょは楽でしたが、あとからきつくなってきました。
- * 苦労したことが2つあります。1つ目は羽を作るときです。ペットボトルがかたくって折るのが大変でした。けれども、それをしっかりやったので優勝できたのだと思います。2つ目はポンピングです。すごく重くって大変でした。でも、同じチームの人と、力を合わせたら速くできました。
- * 工夫したところは、真っ直ぐなロケットになるようにペットボトルのつなぎ目を注意してつないだところでした。その後も、再確認の為、平らな床の上で転がして確認をしました。
- * 友達と一生懸命作ったロケットで優勝できました。とてもうれしかったです。これからもいろいろなことに頑張って取り組みたいと思います。